

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号) 企業・団体名 (マリモ電子工業株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・当社の人権宣言に、「人権・労働」カテゴリ全般に関連したSDGs達成に向けた行動を行なう旨を記載。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・ハラスメント防止宣言を行っている。 ・相談窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・ノー残業デーを設定し全社員と共有、実施日は所属上長が残業の有無を都度声掛け確認している。 ・22年度より36協定特例残業上限65H→60Hに変更。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・RBA行動規範に沿って、就業規則、宣言書、各種規程の見直しを行っている。(2023/07) ・25年度より就業条件の母国語化に対応。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・会社側・衛生管理者・社員側で構成する安全衛生委員会を設置。安全衛生一般の監督・実施等の取組みを実施。 ・安全衛生マニュアルを定め、周知している。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・シニア産業カウンセラーによるメンタルヘルス面談、ストレスチェックによりメンタルヘルス状態の確認、改善を実施している。 ・前シニア産業カウンセラー退職に伴い新シニア産業カウンセラーへの交代を2025年1月実施。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・雇用延長制度あり ・くるみんマーク取得済み。 ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証企業。 ・23年度に男性育休取得あり。25年度に外国人採用あり・人権啓発推進委員を選任し講習会へ参加					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・一人ひとりの能力開発目標を定め、自らの能力開発の推進を促すとともに、研修予算を設け積極的に教育訓練を実施している。(イーラーニングなどを導入)				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			賃金規定に、能力と職能並びに職務に応じて支給することを定め、独自の考課評価表による評価を用いて平等な賃金体系としている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・週に1日のノー残業デーの設置または有給休暇取得を促すことで社員のワークライフバランスの実現に取り組んでいる。・信州ウオーキング大賞2024参加(24/09/01～24/11/30)			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			生活環境改善委員会を設置し、委員会指導の下ごみの分別を行っている。事業上有害廃棄物は発生しない。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			SDG推進委員会を設置し、電力使用量等を把握している。・CO2センサを設置し、CO2濃度の計測を実施(21/11/21)							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			電力消費量削減対策として夏期のクールビズ／冬期のウオームビズを実施している。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)	【非該当】		有害物質を取り扱っていない。事業活動において、有害物質を使用しない部品を用いた設計に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			設計時に環境に配慮した部材選定を行うことで生物多様性保全に配慮している。						6.6										15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			・SDGs推進委員会を設置し、委員会の活動の中で、3Rを進めている。 ・社内の全照明器具がLED化されたことを確認済(23/5/26)。											13		14.1					
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			上下水道使用状況を調査し、必要に応じて社員に展開している。					6.4 6.6													
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）		【予定】	自社業務に効果的な環境マネジメント規格を調査し規格の取得を検討する。			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）			・環境グリーン化推進方針を策定し会社ホームページで公開している。 ・当社の環境方針に、「環境」カテゴリ全般に関連するSDGs達成に向けた行動を行なう旨を記載。												12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）		【予定】	再生可能エネルギーの利用を検討していく。							7.2						13					
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			グリーン購入を推進し、品質や価格だけでなく環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入している。												12.2	13	14	15			
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			就業規則の服務基準で汚職・贈収賄禁止を定め、周知している。																16 16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）		【予定】	不正競争防止に向けた方針の策定、社員への周知を行なう。																16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）			・全てのお客様各社と基本契約・機密保持契約を締結している。 ・22年度より当社独自ロゴ制定(商標登録済み)								8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 （必須）			個人情報適正管理規程を規定し、適切に取り扱っている。 マイナンバーについても、マイナンバー管理室を設置し規定を定め取り扱っている。 セキュリティ対策自己宣言を行っている。																16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ （任意）			鉱物の取り扱いを行っていない。																	16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・製造物品の購入では、RoHS対応、鉛フリー対応部材の仕入れを積極的に行っている。 ・外部委託管理規程の制定し、協力会社への委託内容の明確化と管理を実施(21/09/01)。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）		【予定】	現在総務部門を中心に検討中。			3					8	9	10								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
弊社保有技術や世の中の技術が、どのようにSDGs目標達成に向け役立つのかを、地元の小中高校生および大学生等とともに考える活動を行う。		上田高校のフィールドワークのお手伝いを実施。 2025年についても継続実施予定	1. 5	2. 4 2. a	3. 6	4. 3 4. 4		6. 3	7. 2 7. a	8	9	10	11	12	13			16	18
セミナー／交流会への参加により、SDGsに取り組む他社との交流を図る。		「新たな経営アジェンダ「ビジネスと人権」」セミナー に参加 (2024/02/20)																	17
SDGsの理解深耕		全体会議の場で「SDGsで出来ることを考えてみよう」というテーマにて全社員でディスカッションを実施																	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定